令和２年度(2020 年度)用　**小学校算数科用**

「新しい算数」
臨時休業明けの年間指導計画
参考資料
【1年】

令和２年（2020 年）６月版

※単元ごとの配当時数，主な学習活動，評価規準などは，今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

本資料は，令和２年度用教科書「新しい算数」に基づいて，学校での授業と，学校の授業以外の場において取り組む学習活動を併用してご指導いただく場合の学習指導計画案を示したものです。学校の授業以外の場において取り組む学習活動をできるだけ多く取り入れる場合を想定しています。

本資料をもってすべての状況に対応することは困難です。地域や学校の状況に合わせて，適宜，学校の授業以外の場において取り組む学習活動を増減していただくなど，あくまで一例としてご活用ください。

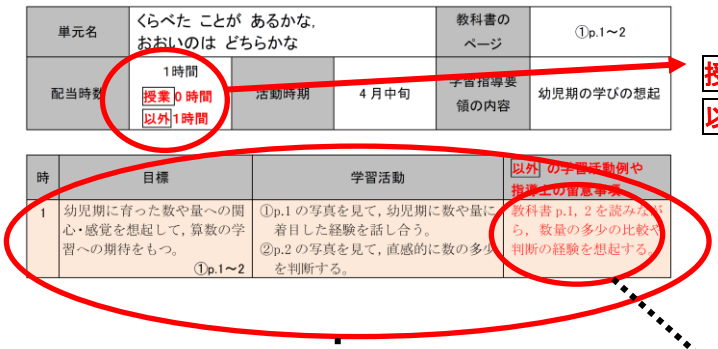
【本資料作成にあたっての基本原則（第1学年）】

●授業の１単位時間は同一であることを前提とします（例えば，30 分授業，40 分授業，45 分授業などを柔軟に組み合わせる弾力的な時程編成を行うことは，本資料では前提にしません）。

●学校の授業以外の場において取り組む学習活動としては，既習内容の復習や活用をおもなねらいとしたページを選定しています。また，第１学年の入学当初については，低学年教育全体の充実を図ることが求められているため，第１学年では「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」はおもに学年の後半に配置しています。

●特に第 1 学年は，児童の発達段階や学習内容，教科書の構成などから，学校の授業以外の場で取り組む学習活動を取り入れることは容易ではないと考えられます。そこで，令和 2 年 5 月 15 日付「新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた学校教育活動等 の実施における「学びの保障」の方向性等について（通知）」（文部科学省）p.5 ①「次年度以降を見通した教育課程編成」を取り入れる場合について，系統性に基づき同一領域の単元を次学年以降の指導で合わせて扱うことも考えられる例として，第 12 単元「かたちあそび」を取り上げています。ただし，本資料では，先の「次年度以降を見通した教育課程編成」を前提としているわけではありません。

【本資料の見方】



1 時間

授業 0 時間

以外 1 時間

平時の際の，学校での授業時間数を表しています。

学校での授業（授業）と，学校の授業以外の場において取り組む学習活動（以外）を併用して指導することを表しています。
その場合の，授業，以外それぞれの時間数も示しています。

以外で取り組むこととする学習活動には，赤いアミをしています。

該当の時間の学習活動に即して，授業，以外における指導上の留意事項などを適宜示しています。
あくまで一例ですので，学校や地域の実態に応じて，適宜ご参照ください。

単元名	くらべた ことが あるかな， おおいのは どちらかな			教科書のページ	①p.1～2
配当時数	1時間 授業 0 時間 以外 1時間	活動時期	4 月中旬	学習指導要領の内容	幼児期の学びの想起

時	目標	学習活動	以外 の学習活動例や指導上の留意事項
1	・幼児期に育った数や量への関心・感覚を想起して，算数の学習への期待をもつ。 ①p.1～2	①p.1 の写真を見て，幼児期に数や量に着目した経験を話し合う。 ②p.2 の写真を見て，直感的に数の多少を判断する。	教科書 p.1，2 を読みながら，数量の多少の比較や判断の経験を想起する。

単元名	1. なかまづくりと かず			教科書のページ	①p.3～35
配当時数	14 時間	活動時期	4 月中旬～ 5 月上旬	学習指導要領の内容	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(ク)，イ(ア)

単元の目標		10 までの数について，個数の比べ方や数の読み方，書き方，数の構成などを理解し，数のまとまりに着目して数の大きさの比べ方や数え方を考える力及び数の構成に着目して数を多面的にとらえる力を養うとともに，数に親しみ，数で表すこと及び比べることのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。
単元の観点別評価規準	知識・技能	10 までの数について，1 対 1 対応により集合の要素の個数を比べる方法や数の読み方，書き方，数の構成などを理解し，集合の要素の個数を比べたり，数を正しく数え数字を読んだり書いたり，数の合成，分解をしたりすることができる。
	思考・判断・表現	数のまとまりに着目し，数の大きさの比べ方や数え方を考え言葉やブロックなどを用いて表現したり，数の構成に着目し，1 つの数をほかの 2 つの数の和や差としてとらえ言葉や半具体物などを用いて表現したりしている。
	主体的に学習に取り組む態度	数の比べ方や数え方を考えた過程や結果を振り返り，そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

時	目標	学習活動	以外 の学習活動例や指導上の留意事項
(1) たりるかな　①p.3～5　1 時間			
1	・集合の要素の個数の多少を 1 対 1 対応の方法で比べることができ，数が同じ，違う(多い，少ない)などの意味を理解する。 ①p.3～5	①コアラと傘などの数の多少を線で結んで比較する。 ②直接対応できない 2 つの集合の要素の個数について，比較の方法を考える。 ③媒介物（ブロック）を用いて比較する。 ④数量の相等，多少の意味を考える。	

時	目標	学習活動	以外 の学習活動例や指導上の留意事項
(2) おなじ かずの なかまを さがそう ①p.6～11 2 時間			
2	・数量の大きさを表す「いち」「に」…「ご」の数詞と，「1」「2」…「5」の数字が対応していることを知り，1～5 個のものの数を数えることができる。 ・1～5 の数字の書き方を理解する。 ①p. 6～9	①p.6～7 の絵を見て，いろいろな集合を見つけ，要素の個数に着目する。 ②同じ個数の集合を見つけ，「いち」「に」…「ご」の数詞を対応させる。 ③各要素の数や数図に「1」…「5」の数字を対応させる。 ④具体物を数える練習をする。 ⑤1～5 の数字の書き方を知り，数字を書く練習をする。(p.8～9)	
3	・1～5 の数について，具体物，半具体物，数図，数字，数詞を相互に関連づけることができる。 ①p.10～11	①p.10 の絵を見て，数量を数えて数字を書く。 ②1～5 の数について，具体物，半具体物，数図，数字，数詞を互いに対応させる。(p.11 上段) ③ブロック 5 個を用いて様々な形を作り，数の多様な見方にふれる。	
(3) 5 は いくつと いくつ ①p.12～13 1 時間			
4	・5 の構成を理解する。 ①p.12～13	①おはじきを用いた活動を通して，5 はいくつといくつに分けられるか考える。 ②5 の構成をとらえ，5 はいくつといくつで表す。	
(4) おなじ かずの なかまを さがそう ①p.14～19 2 時間			
5	・数量の大きさを表す「ろく」「しち」…「じゅう」の数詞と，「6」「7」…「10」の数字が対応していることを知り，6～10 個のものの数を数えることができる。 ・6～10 の数字の書き方を理解する。 ①p.14～17	①p.14～15 の絵を見て，いろいろな集合を見つけ，要素の個数に着目する。 ②同じ個数の集合を見つけ，「ろく」「しち」…「じゅう」の数詞を対応させる。 ③各要素の数や数図に「6」…「10」の数字を対応させる。 ④具体物を数える練習をする。 ⑤6～10 の数字の書き方を知り，数字を書く練習をする。(p.16～17)	
6	・6～10 の数について，具体物，半具体物，数図，数字，数詞を相互に関連づけることができる。 ①p.18～19	①p.18 の絵を見て，数量を数えて数字を書く。また，「上のカエルが 3 びきと下のカエルが 3 びきで，カエルは 6 ぴき」などのように，集合を構成的に表す。 ②6～10 の数について，具体物，半具体物，数図，数字，数詞を互いに対応させる。(p.19 上段) ③6～10 の数について，p.19 下段の線結びを通して，具体物，半具体物，数図，数字を相互に関連づける。	

時	目標	学習活動	以外 の学習活動例や指導上の留意事項
(5) いくつと いくつ　①p.20～31　6 時間			
7	・6 の構成を理解する。 ①p.20～21	①ブロックを用いた活動を通して,6 はいくつといくつに分けられるか考える。 ②6 の構成をとらえ, 6 はいくつといくつで表す。 ③数の構成的な見方を活用して，ものの数を数える。 ④p.30 の上段のような活動に取り組む。	
8	・7 の構成を理解する。 ①p.22～23	①ブロックを用いた活動を通して,7 はいくつといくつに分けられるか考える。 ②7 の構成をとらえ, 7 はいくつといくつで表す。 ③数の構成的な見方を活用して，ものの数を数える。 ④p.30 の上段のような活動に取り組む。	
9	・8 の構成を理解する。 ①p.24～25	①数カードを用いた活動を通して,8 の構成を考える。 ②8 の構成をとらえ, 8 はいくつといくつで表す。 ③数の構成的な見方を活用して，ものの数を数える。 ④p.30 の上段のような活動に取り組む。	
10	・9 の構成を理解する。 ①p.26～27	①数カードを用いた活動を通して,9 の構成を考える。 ②9 の構成をとらえ, 9 はいくつといくつで表す。 ③数の構成的な見方を活用して，ものの数を数える。 ④p.30 の上段のような活動に取り組む。	
11	・10 の構成を理解する。 ①p.28～29	①ブロックを用いて,10 の構成や 10 に対する補数を考える。 ②10 の構成をとらえ, 10 はいくつといくつで表す。	
12	・10 の構成の理解を確実にする。 ①p.30～31	①p.30 上段の，10 に対する補数を言う活動に取り組む。 **＊デジタルコンテンツ設定有** ②p.30 下段の，10 を合成する活動に取り組む。 ③数の構成的な見方を活用して，ものの数を数える。	

時	目標	学習活動	以外 の学習活動例や指導上の留意事項
(6) おおきさを くらべよう　①p.32～33　1 時間			
13	・1～10 の数について，大小を比較することができ，その系列を理解する。 ①p.32～33	①数図カードや数カードによる数の大小比較をする。 ②1 個～10 個の，少ない順に並んだブロックを見て，それぞれのブロックの数を数字で書く。 ③数カードによる数の大小比較を基に1～10 までの数字を並べる。	
(7) 0 と いう かず　①p.34～35　1 時間			
14	・1 つもないことを 0 と表すことを理解する。 ・10 までの数の系列について多面的にみることができる。 ①p.34～35	①輪投げの結果を見て，0 という数について知る。 ②2 ずつ交互に唱えたり，途中の数から唱えたり，大きい数から小さい数の順に唱えたりする。	

単元名	2. なんばんめ			教科書のページ	①p.36～39
配当時数	2 時間	活動時期	5 月中旬	学習指導要領の内容	A(1)ア(イ)，イ(ア) B(1)ア(ウ)

単元の目標		数を用いた順序の表し方を理解し，基点に着目して順序を考える力を養うとともに，数を用いて順序を表すことのよさを感じ，日常生活に活用しようとする態度を養う。
単元の観点別評価規準	知識・技能	数を用いた順序や位置の表し方を理解し，数を用いて順序や位置を表すことができる。
	思考・判断・表現	数を順序や位置を表すものとしてみて，基点に着目して順序や位置を考え，数を用いて順序や位置を表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	数を用いて順序や位置を考えた過程や結果を振り返り，そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

時	目標	学習活動	以外 の学習活動例や指導上の留意事項
(1) なんばんめ　①p.36～39　2 時間			
1	・数は順序を表す際にも用いられることを知り，前後に関わる順序の表し方を理解する。 ①p.36～37	①短距離走の順位を，数を用いて表す。 ②じゃんけん列車の絵を見て，前後に関わる順序を数で表す。 ③集合数と順序数の違いを意識しながら，p.37 下段の絵を線で囲む。 ④教室の中にあるものなど，身近な具体物を使って，数を用いて順序や位置を表す練習をする。	
2	・上下，左右に関わる順序や位置の表し方を理解する。 ①p.38～39	①p.38 の動物の絵を見て，上下に関わる位置を数で表す。 ②p.38 の机の上の果物を見て，左右に関わる位置を数で表す。 ③p.39 の絵を見て，パンダの位置の表し方を考える。	

単元名	どのように かわるかな			教科書のページ	①p.40～41
配当時数	1 時間	活動時期	5 月中旬	学習指導要領の内容	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(ク)，イ(ア) D(1)ア(ア)

時	目標	学習活動	以外 の学習活動例や指導上の留意事項
1	・数の構成について，数の関数的な見方に気づき，数の変わり方を説明することができる。 ①p.40～41	①6 の構成について，ヒヨコが 1 増えると卵が 1 減るという関係をとらえる。 ②6 の構成についてまとめ，●が 1 増えると〇が 1 減るという関数的な見方にふれ，説明する。 ③10 の構成についてまとめ，●が 1 増えると〇が 1 減るという関数的な見方にふれ，説明する。	

単元名	しあげよう			教科書のページ	①p.42～43
配当時数	1 時間	活動時期	5 月中旬	学習指導要領の内容	A(1)ア(ア)(イ)(エ)(ク)

時	目標	学習活動	以外 の学習活動例や指導上の留意事項
1	・10 までの数について数を多様にみてきたことを振り返り，理解を確実にする。 ①p.42～43	①数の構成や数を数える問題に取り組む。	

単元名	かずを さがそう			教科書のページ	①p.44
配当時数	―	活動時期	5 月中旬	学習指導要領の内容	―

時	目標	学習活動	以外 の学習活動例や指導上の留意事項
―	・身の回りから，10 までの数のものを探すことを通して，数の理解を深める。 ①p.44	①教室の中にあるものなどで，10 までの数のものを探し数を数える。	

単元名	3. あわせて いくつ　ふえると いくつ			教科書のページ	②p.2～12
配当時数	8 時間	活動時期	5 月下旬～ 6 月上旬	学習指導要領の内容	A(1)ア(エ) (2)ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア)

単元の目標		加法の意味と和が 10 以内の加法計算の仕方を理解し，数量の関係に着目して加法の意味や加法計算の仕方を考える力を養うとともに，加法の意味や加法計算の仕方を操作や式に表して考えた過程を振り返り，そのよさを感じ，日常生活に活用しようとする態度を養う。
単元の観点別評価規準	知識・技能	合併や増加など，加法が用いられる場合について知り，加法の意味を理解し，和が 10 以内の加法計算が確実にできる。
	思考・判断・表現	加法の意味に着目し，合併や増加などの場面を加法の式に表し，その計算の仕方を 1 位数の構成や操作などを用いて考え，表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	加法の意味や加法計算の仕方について，数構成や操作などを用いて考えた過程や結果を振り返り，そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

時	目標	学習活動	以外 の学習活動例や指導上の留意事項
(1) あわせる　②p.2～4　2 時間			
1	・2 つの数量の合併の場合について，加法の意味や，式の表し方を理解する。 ②p.2～3	①クッキーをお皿に入れている絵や，ジャガイモをかごに入れている絵を見て，あわせる場面であることを確認する。 ②金魚を水槽に入れている絵を見て，合併の場面であることを確かめ，ブロック操作で表す。 ③ブロック操作で合併の場面を表す。 ④合併の場面を加法の式に表したり，式を読み取り場面を選んだりすることを通して，式は場面を表していることを確認する。 ⑤用語「たしざん」を知る。	
2	・合併の場面を加法の式に表し，答えを求めることができる。 ②p.4	①合併の場面を加法の式に表し，答えを求める。	

時	目標	学習活動	以外 の学習活動例や指導上の留意事項
(2) ふえる　②p.5～9　3 時間			
3	・数量の増加の場合について，加法の意味や，式の表し方を理解する。 ・増加の場面を加法の式に表し，答えを求めることができる。 ②p.5～6	①クッキーをお皿に入れている絵や，ジャガイモをかごに入れている絵を見て，もともとあったものに後から加えて増やす場面であることを確認する。 ②金魚を水槽に入れている絵を見て，増加の場面であることを確かめ，ブロック操作で表す。 ③ブロック操作で増加の場面を表す。 ④増加の場面を加法の式に表す。 ⑤加法の意味を統合する。 ⑥増加の場面を加法の式に表したり，式を読み取り場面を選んだりすることを通して，式は場面を表していることを確認する。	
4	・増加の場面を加法の式に表し，答えを求めることができる。 ・和が 10 以内の加法計算の仕方を理解し，その計算ができる。 ・文章題の解決を通して，加法の意味理解を深める。 ②p.7～8	①増加の場面を加法の式に表し，答えを求める。 ②和が 10 以内の加法計算をする。 ③問題文を読み，合併や増加の場面をとらえ，立式，解決をする。	
5	・加法の計算能力を伸ばす。 ②p.9	①計算カードを使って，和が 10 以内の加法計算の練習をする。 **＊デジタルコンテンツ設定有** ②被加数と加数の並び方を見て空欄のカードを考えたり，同じ答えのカードを探したりする活動を通して，1 つの数を 2 つの数の和としてとらえる。	
(3) 0 の たしざん　②p.10　1 時間			
6	・0 を含む加法の計算の意味を理解する。 ②p.10	①2 回の玉入れゲームの合計を求める場面を，0 を含む加法の式に表す。 ②0 を含む式から，玉入れゲームの結果を考えて図に表す。	
(4) おはなしづくり　②p.11　1 時間			
7	・加法の意味理解を基にして，式を読み取ってお話をつくり，説明することができる。 ②p.11	①p.11 の絵を見て，いろいろな観点で合併や増加の場面をとらえ，4＋3 の式になるお話をつくる。	

時	目標	学習活動	以外 の学習活動例や指導上の留意事項
まとめ　②p.12　1 時間			
8	・学習内容の定着を確認するとともに，単元で学習したことのよさを感じ価値づける。 ②p.12	①「たしかめよう」に取り組む。	

単元名	おぼえているかな？			教科書のページ	②p.13
配当時数	―	活動時期	6 月上旬	学習指導要領の内容	―

時	目標	学習活動	以外 の学習活動例や指導上の留意事項
―	・既習内容の理解を確認する。 ②p.13	①「おぼえているかな？」に取り組む。	問題の解決，答え合わせを 以外 で行う。 児童がわからない問題があれば，個別に支援する。

単元名	4. のこりは いくつ ちがいは いくつ			教科書のページ	②p.14～25
配当時数	9 時間	活動時期	6 月中旬～下旬	学習指導要領の内容	A(1)ア(エ) (2)ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア)

単元の目標		減法の意味と被減数が 10 以内の減法計算の仕方を理解し，数量の関係に着目して減法の意味や減法計算の仕方を考える力を養うとともに，減法の意味や減法計算の仕方を操作や式に表して考えた過程を振り返り，そのよさを感じ，日常生活に活用しようとする態度を養う。
単元の観点別評価規準	知識・技能	求残や求補，求差など，減法が用いられる場合について知り，減法の意味を理解し，被減数が 10 以内の減法計算が確実にできる。
	思考・判断・表現	減法の意味に着目し，求残や求補，求差などの場面を減法の式に表し，その計算の仕方を数の構成や操作などを用いて考え，表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	減法の意味や減法計算の仕方について，数構成や操作などを用いて考えた過程や結果を振り返り，そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

時	目標	学習活動	以外 の学習活動例や指導上の留意事項
(1) へる ②p.14～18 4 時間			
1	・求残の場合について，減法の意味や，式の表し方を理解する。 ②p.14～15	①鉛筆を筆箱から取っている絵や，チョウが飛んでいく絵を見て，数が減る場面であることを確認する。 ②金魚を水槽から出している絵を見て，求残の場面であることを確かめ，ブロック操作で表す。 ③ブロック操作で求残の場面を表す。 ④求残の場面を減法の式に表す。 ⑤求残の場面を減法の式に表したり，式を読み取り場面を選んだりすることを通して，式は場面を表していることを確認する。 ⑥用語「ひきざん」を知る。	
2	・求残の場面を減法の式に表し，答えを求めることができる。 ②p.16	①求残の場面を減法の式に表し，答えを求める。	
3	・被減数が 10 以内の減法計算の仕方を理解し，その計算ができる。 ・求補の場合について，減法の意味を理解する。 ②p.17	①被減数が 10 以内の減法計算をする。 ②ウサギが並んでいる絵を見て，全体の数と白いウサギの数から黒いウサギの数を求める場面であることをとらえ，答えの求め方を考える。 ③ブロック操作で求補の意味を表す。 ④減法の意味を統合する。 ⑤求補の場面を減法の式に表す。	

時	目標	学習活動	以外 の学習活動例や指導上の留意事項
4	・減法の計算能力を伸ばす。 ②p.18	①計算カードを使って，被減数が 10 以内の減法計算の練習をする。 ＊デジタルコンテンツ設定有 ②被減数と減数の並び方を見て空欄のカードを考えたり，同じ答えのカードを探したりする活動を通して，1 つの数を 2 つの数の差としてとらえる。	
(2) 0 の ひきざん　②p.19　1 時間			
5	・0 を含む減法の計算の意味を理解する。 ②p.19	①残ったカードの数を求める事象を，0 を含む減法の式に表す。	
(3) ちがい　②p.20～23　2 時間			
6	・求差の場合について，減法の意味を理解する。 ②p.20～21	①折り紙が 2 列に並んでいる絵を見て，1 対 1 対応によって 2 量の多少を確かめ，その差の求め方を考える。 ②ブロック操作で求差の意味を考える。 ③減法の意味を統合する。 ④求差の場面を減法の式に表す。	
7	・文章題の解決を通して，求差の意味理解を深める。 ②p.22～23	①問題文や絵から，「どちらが何個多い」,「○と△の数の違いは何個」の求答事項について考える。 ②ブロック操作で求差の場面であることを確かめ，減法の式に表す。 ③絵に線をひくなど 1 対 1 対応して，答えを確かめる。	
(4) おはなしづくり　②p.24　1 時間			
8	・減法の意味理解を基にして，式を読み取ってお話をつくり，説明することができる。 ②p.24	①p.24 の絵を見て，いろいろな観点で求残，求補，求差の場面をとらえ，6－4 の式になるお話をつくる。	
まとめ　②p.25　1 時間			
9	・学習内容の定着を確認するとともに，単元で学習したことのよさを感じ価値づける。 ②p.25	①「たしかめよう」に取り組む。	

単元名	5. どちらが ながい			教科書のページ	②p.26～31
配当時数	5 時間	活動時期	7 月上旬～中旬	学習指導要領の内容	C(1)ア(ア)(イ), イ(ア)

単元の目標		長さの比較などの活動を通して，長さや測定についての基礎的な意味を理解し，身の回りにあるものの長さについて任意単位などにより比較する力を養うとともに，長さについての感覚を豊かにし，日常生活に活用しようとする態度を養う。
単元の観点別評価規準	知識・技能	長さについての基礎的な意味や，比較の方法，任意単位による測定の方法を理解し，長さについての基礎的な感覚を身につけ，直接比較や間接比較，任意単位による測定などによって，長さを比べることができる。
	思考・判断・表現	身の回りにあるものの長さに着目して，直接比較や間接比較，任意単位による長さの比べ方を考えたり，任意単位により長さを数値で表したりしている。
	主体的に学習に取り組む態度	身の回りにあるものの長さに関心をもち，比較の方法を工夫した過程や結果を振り返り，そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

時	目標	学習活動	以外 の学習活動例や指導上の留意事項
(1) どちらが ながい　②p.26～31　5 時間			
1	〔プロローグ〕	①p.26 の高さや長さを比べている写真を見て，身の回りにあるものの長さについての関心・感覚を引き出す。 (所要時間は 10 分程度)	
	・身の回りにあるものの長さを，直接比較や間接比較の方法で比べることができる。 ②p.26～28	①2 本の鉛筆の長さの比べ方を考える。 ②ストローとリボンの長さの比べ方を考える。 ③直接比べることのできない長さ（便箋や色鉛筆ケースの縦, 横の長さ）の比べ方を考える。	
2		①長さの直接比較の仕方（一方の端をそろえて，曲がっているものはまっすぐに伸ばす）をまとめる。 ②便箋を折ったり，媒介物を用いたりすることによって，直接比べることのできない長さを比べられることをまとめる。	
3	・前時までの学習を踏まえ，身の回りにあるものの長さを間接比較の方法で比べることができる。 ②p. 29	①紙テープに写し取った長さを黒板に貼って比べる。	
4	・身の回りにあるものの長さは，任意単位のいくつ分としてとらえることで，数として表したり，比較したりできることを理解する。 ②p.30	①p.30 の写真を見て話し合い，机の縦と横の長さの比べ方を考える。 ②身の回りにあるものの長さを，指の幅や色鉛筆などを単位として「いくつ分」で表す。 ③任意単位を使うと，長さを数で表し，比べられることをまとめる。	

時	目標	学習活動	以外 の学習活動例や指導上の留意事項
5	・任意単位による長さの比較についての理解を深める。 ②p.31	①電車の長さを，車両の数で表す。 ②身の回りにあるものの長さを，ますを単位として「いくつ分」で表す。 ③長さの差も，ますのいくつ分で表せることを確認する。	

単元名	6. わかりやすく せいりしよう			教科書のページ	②p.32～34
配当時数	2 時間	活動時期	9 月上旬	学習指導要領の内容	A(1)ア(ア)(イ)(ク), イ(ア) D(1)ア(ア), イ(ア)

単元の目標		ものの個数について簡単な絵や図に表す方法を理解し，データの個数を簡単な絵や図に表し，それらの特徴を読み取る力を養うとともに，簡単な絵や図を用いてデータの個数を表したり，とらえたりしたことを振り返り，日常生活に活用しようとする態度を養う。
単元の観点別評価規準	知識・技能	ものの個数を種類ごとに分類整理し，簡単な絵や図を用いて表したり読み取ったりすることができる。
	思考・判断・表現	データの個数に着目し，身の回りの事象について簡単な絵や図を用いて特徴をとらえている。
	主体的に学習に取り組む態度	簡単な絵や図を用いて，データの個数を表したりその特徴をとらえたりした過程や結果を振り返り，そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

時	目標	学習活動	以外 の学習活動例や指導上の留意事項
(1) わかりやすく せいりしよう ②p.32～34 2 時間			
1	・ものの個数を種類ごとに整理して，簡単な絵や図に表すことができる。 ②p.32～33	①つりゲームの結果を見て，種類ごとの個数に関心をもつ。 ②種類ごとの個数を，整理する方法を考える。 ③絵や図の大きさを揃えて表すことを確認する。 ④長さの学習を踏まえ，端を揃えて表すことを確認する。 ⑤つりゲームの結果を，p.33 の図に表す。 ＊デジタルコンテンツ設定有	
2	・簡単な絵や図から，データの個数の特徴を読み取ることができる。 ②p.34	①つりゲームの結果を表した図を見て，個数の多少を比べたり，個数を読み取ったりする。	

単元名	おぼえているかな？			教科書のページ	②p.35
配当時数	—	活動時期	9 月上旬	学習指導要領の内容	—

時	目標	学習活動	以外 の学習活動例や指導上の留意事項
—	・既習内容の理解を確認する。 ②p.35	①「おぼえているかな？」に取り組む。	問題の解決，答え合わせを 以外 で行う。 児童がわからない問題があれば，個別に支援する。

単元名	7. 10 より おおきい かず			教科書のページ	②p.36～47
配当時数	9 時間	活動時期	9 月上旬～中旬	学習指導要領の内容	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)(キ)(ク)，イ(ア) (2)ア(エ)，イ(ア)

単元の目標		40 までの数について，個数の数え方や数の読み方，書き方，数の構成などを理解し，10 をひとまとまりにして数の数え方などを考える力及び数の構成に着目して数の計算の仕方を考える力を養うとともに，数で表すことのよさを感じ，日常生活に活用しようとする態度を養う。
単元の観点別評価規準	知識・技能	40 までの数について，個数の数え方や数の読み方，書き方，数の構成や大小などを理解し，40 までの数を数え数字を読んだり書いたり，20 までの数の構成を加法や減法の式に表すことができる。
	思考・判断・表現	10 のまとまりに着目し，40 までの数の数え方や読み方，書き方を考え，言葉やブロックなどを用いて表現したり，数の構成や既習の計算を活用して，20 までの数の繰り上がりや繰り下がりのない加減計算の仕方を考え，言葉やブロックなどで表現したりしている。
	主体的に学習に取り組む態度	数の構成を活用して数の数え方や加減計算の仕方を考えた過程や結果を振り返り，そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

時	目標	学習活動	以外 の学習活動例や指導上の留意事項
(1) 10 より おおきい かず　②p.36～43　6 時間			
1	〔プロローグ〕	①p.36 を見て，さらさんとあつとさんの拾ったどんぐりの数を数え，既習を確認する。 (所要時間は 10 分程度)	
	・20 までの数の数え方，唱え方を理解する。 ②p.36～38	①まさしさんのどんぐりの数を数え，10 個より多いという見通しをもつ。 ②p.37 の，まさしさんとみきさんのどんぐりの数を数える。 ③まさしさんのどんぐりは 10 と 3 で「じゅうさん」と読み，「13」と書くことを確認する。 ④みきさんのどんぐりは 10 と 6 で「じゅうろく」と読み，「16」と書くことを確認する。 ⑤1 位数を，他の 2 つの数の和としてみたことをおさえ，「10 といくつ」という見方を確認する。 ⑥20 までの数を数え，数詞を唱える。	
2	・20 までの数の読み方，書き方を理解する。 ②p.39	①写真を見て，あめや卵の数を数える。 ②10 と 9 で 19，10 と 10 で 20 と書き表す。 ③下段の図を見て，20 までの数を読んだり書いたりする。	

時	目標	学習活動	以外 の学習活動例や指導上の留意事項
3	・20 までの数の数え方の理解を深める。 ②p.40	①写真を見て，10 といくつになっている卵の数を数える。 ②5 個で 1 パックになっているトマトや，2 個で 1 パックになっているヨーグルトの数を，工夫して数える。 ③折鶴の数を，10 のまとまりをつくって数える。 ④バス停に人が並んでいる絵を見て，20 までの数の順序数について考える。	
4	・20 までの数の構成を理解する。 ②p.41	①20 までの数の分解について，ブロックによる操作活動などを通して数で表す。	
5	・数直線を知り，数直線で数が表せることや，20 までの数についての大小や系列を理解する。 ②p.42～43	①図を見て，カエルやネコ，ウサギの跳んだ距離と位置を調べ，数直線上の動物の位置を数で表す。 ②すごろくと数直線の共通点，相違点を考え，数直線の特徴や性質を確認する。 ③数直線を手がかりにして，20 までの数の大小を考える。	
6		①数直線を手がかりにして，20 までの数の系列を考える。 ②数直線を見ながら，基準の数との大小，方向などを考える。 ③2 とびで唱えたり，大きい数から小さい数の順に唱えたりする。	
(2) かずと しき　②p.44～45　2 時間			
7	・20 までの数の構成を和や差でとらえ，10 と 1 位数の加法とその逆の減法をすることができる。 ②p.44	①数の構成（10 といくつ）に基づいて，10＋5 などの式に表す。 ②数の構成（10 といくつ）に基づいて，15－5 などの式に表す。 ③10 と 1 位数の加法とその逆の減法の計算の仕方を考える。	
8	・20 までの数の構成を和や差でとらえ，12＋3，15－3 などの計算ができる。 ②p.45	①20 までの数について，その数の構成に着目して，12＋3 や 15－3 などの式に表し，計算の仕方を考える。	

時	目標	学習活動	以外 の学習活動例や指導上の留意事項
(3) 20 より おおきい かず　②p.46～47　1 時間			
9	・40 までの数の数え方，読み方，書き方を理解する。 ②p.46～47	①写真を見て，卵や数え棒，色紙，ペンの数を数える。 ②卵は 20 と 3 で「にじゅうさん」と読み，「23」と書くことを確認する。 ③20 と 6 で 26 と書き表す。 ④色紙は 10 が 3 こで「さんじゅう」と読み，「30」と書くことを確認する。 ⑤30 と 4 で 34 と書き表す。 ⑥40 までの数について，数え棒の数を数えたり，カレンダーの数を読んだりする。	

単元名	8. なんじ なんじはん			教科書のページ	②p.48～49
配当時数	1 時間	活動時期	9 月中旬	学習指導要領の内容	C(2)ア(ア), イ(ア)

単元の目標		何時，何時半の時刻の読み方を理解し，時計の短針と長針の関係を基に時刻の読み方や表し方を考える力を養うとともに，それらを日常生活に活用しようとする態度を養う。
単元の観点別評価規準	知識・技能	何時，何時半の時刻の読み方を理解し，何時，何時半の時刻を読んだり，時計で表したりすることができる。
	思考・判断・表現	短針と長針の関係をとらえて，それぞれの針の位置を基に時刻の読み方を考え，表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	時刻に関心をもち，そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

時	目標	学習活動	以外 の学習活動例や指導上の留意事項
(1) なんじ なんじはん ②p.48～49 1 時間			
1	・時計を見て，何時，何時半を読み取ることができる。 ②p.48～49	①絵を見て，1 日の生活と関連づけながら何時，何時半の時刻を読む。 ②模型時計を使って，表された時刻を読んだり，指示された時刻を表したりする（短針の読み取りや，短針の動き方の確認に重点を置く）。 ＊デジタルコンテンツ設定有	

単元名	おぼえているかな？			教科書のページ	②p.50
配当時数	―	活動時期	9 月中旬	学習指導要領の内容	―

時	目標	学習活動	以外 の学習活動例や指導上の留意事項
―	・既習内容の理解を確認する。 ②p.50	①「おぼえているかな？」に取り組む。	問題の解決，答え合わせを 以外 で行う。 児童がわからない問題があれば，個別に支援する。

単元名	9. 3 つの かずの けいさん			教科書のページ	②p.51～54
配当時数	3 時間	活動時期	9 月中旬～下旬	学習指導要領の内容	A(1)ア(エ) (2)ア(ア)(イ)(ウ)(エ), イ(ア)

単元の目標		3 つの数の加減計算の仕方を理解し, 3 つの数の加減計算の仕方を操作や式を用いて考える力を養うとともに, 3 つの数の加減計算の式の表し方や計算の仕方を考えた過程を振り返り, そのよさを感じ, 日常生活に活用しようとする態度を養う。
単元の観点別評価規準	知識・技能	3 つの数の加減計算の場面を 1 つの式に表せることを理解し, その計算が確実にできる。
	思考・判断・表現	2 つの数の加法や減法を基にして, 3 つの数の加減計算の式の表し方や計算の仕方を, 操作や図を用いて考え表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	3 つの数の加減計算について, 式の表し方や計算の仕方を, 操作や図を用いて考えた過程や結果を振り返り, そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

時	目標	学習活動	以外 の学習活動例や指導上の留意事項
(1) 3 つの かずの けいさん ②p.51～54 3 時間			
1	・3 つの数の加法の式の意味を理解し, その計算をすることができる。 ②p.51～52	①p.51 の絵を見て, 式を考える。 ②3 つの数の加法の場面を 1 つの式に表す。 ③2 つの数の加法計算を基にして, 3 つの数の加法計算の仕方を考え, 計算する。 ④場面を 1 つの式に表すよさを確認する。	
2	・3 つの数の減法の式の意味を理解し, その計算をすることができる。 ②p.53	①p.53 の絵を見て, 式を考える。 ②3 つの数の減法の場面を 1 つの式に表す。 ③2 つの数の減法計算を基にして, 3 つの数の減法計算の仕方を考え, 計算する。 ④減法の式も, 3 つの数の計算を 1 つの式に表せることを確認する。	
3	・3 つの数の加減混合の式の表し方や計算の仕方を, 操作や図を用いて考え, 説明することができる。 ②p.54	①p.54 の絵を見て式を考え, 解決する。 ②3 つの数の加減混合計算の場面を 1 つの式に表す。 ③3 つの数の加減混合計算の仕方を考え, 計算する。 ④4 つの数の加減計算をする。	

単元名	10. どちらが おおい			教科書のページ	②p.55～58
配当時数	4 時間	活動時期	9 月下旬	学習指導要領の内容	C(1)ア(ア)(イ), イ(ア)

単元の目標		体積の比較などの活動を通して，体積とその測定についての基礎的な意味を理解し，身の回りにあるものの体積について任意単位などにより比較する力を養うとともに，体積についての感覚を豊かにし，日常生活に活用しようとする態度を養う。
単元の観点別評価規準	知識・技能	体積についての基礎的な意味や，保存性，比較の方法，任意単位による測定の方法を理解し，体積についての基礎的な感覚を身につけ，直接比較や間接比較，任意単位による測定などによって，身の回りにある入れ物に入る水の体積を比べることができる。
	思考・判断・表現	身の回りにある入れ物に入る水の体積に着目して，直接比較や間接比較，任意単位による体積の比べ方を考えたり，任意単位により体積を数値で表したりしている。
	主体的に学習に取り組む態度	身の回りにある入れ物に入る水の体積に関心をもち，比較の方法を工夫した過程や結果を振り返り，そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

時	目標	学習活動	以外 の学習活動例や指導上の留意事項
(1) どちらが おおい ②p.55～58 4 時間			
1	・身の回りにあるものの体積に関心をもち，直接比較の方法で比べることができる。 ②p.55～56	①水を形状の異なる容器に入れても，体積が変わらないことを確認する。 ②形の異なる 2 つの容器に入る水の体積の大小を比べる方法を考える。 ③直接比較の方法で体積を比べる。	
2	・身の回りにあるものの体積を，間接比較の方法で比べることができる。 ②p.56～57	①3 つの容器に入る水の体積の大小を比べる方法を考える。 ②間接比較の方法で体積を比べる。	
3	・身の回りにあるものの体積を，任意単位を用いて，数として表したり，比較したりする方法を考え，説明することができる。 ②p.57～58	①水の体積を数で比べる方法を考える。 ②容器に入っている水の体積を，コップを単位として「いくつ分」で表す。 ③長さの学習を振り返り，任意単位で比較するよさを確認する。	
4	・任意単位による体積の比較についての理解を深める。 ②p.58	①任意単位による比較の方法で，身の回りのいろいろな入れ物に入る水の体積を比べる。	

単元名	おぼえているかな？			教科書のページ	②p.59
配当時数	―	活動時期	9 月下旬	学習指導要領の内容	―

時	目標	学習活動	以外 の学習活動例や指導上の留意事項
―	・既習内容の理解を確認する。 ②p.59	①「おぼえているかな？」に取り組む。 ②教師が示した 1 位数が書いてあるカードを見て，10 に対する補数を答える活動に取り組む。	問題の解決，答え合わせを 以外 で行う。 児童がわからない問題があれば，個別に支援する。

単元名	11. たしざん			教科書のページ	②p.60～69
配当時数	10 時間 授業 9 時間 以外 1時間	活動時期	10 月上旬～中旬	学習指導要領の内容	A(1)ア(エ) (2)ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア)

単元の目標		1 位数どうしの繰り上がりのある加法計算の仕方を理解し，計算の仕方を操作や図を用いて考える力を養うとともに，計算の仕方を操作や図を用いて考えた過程を振り返り，そのよさを感じ，今後の学習や日常生活に活用しようとする態度を養う。
単元の観点別評価規準	知識・技能	1 位数どうしの繰り上がりのある加法計算が，「10 といくつ」という数の見方を基にしてできることを理解し，その計算が確実にできる。
	思考・判断・表現	10 のまとまりに着目し，1 位数どうしの加法計算の仕方を，操作や図を用いて考え，表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	1 位数どうしの加法計算の仕方について，「10 といくつ」という数の見方や操作，図などを用いて考えた過程や結果を振り返り，そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

時	目標	学習活動	以外 の学習活動例や指導上の留意事項
(1) 9＋4 の けいさん ②p.60～64 4 時間			
1	〔プロローグ〕	①p.60 を見て，「あわせてなんこ」を求める場面であることから，加法であることを考え，立式する。既習の加法計算を振り返る。(所要時間は 10 分程度)	
	・1 位数どうしの繰り上がりのある加法計算で，加数を分解して計算する方法（加数分解）を理解する。 ②p.60～62	①p.61 を見て，9＋4 は未習の計算であることを確認する。 ②9＋4 の計算の仕方を考える。	
2		①操作や図を用いて，9＋4 の計算の仕方を説明する。 ②加数分解による計算方法をまとめる。 ③加数分解の方法で 9＋3 の計算をする。	
3	・前時までの学習を踏まえ，1 位数どうしの繰り上がりのある加法計算で，加数を分解して計算する方法の理解を確実にする。 ②p.63～64	①被加数が 8 や 7 の場合の計算の仕方を考える。 ②加数分解すると，10 のまとまりがつくりやすいことについてまとめる。	
4		①被加数が 9～6 の場合の計算練習に取り組む。 ②文章題を解決する。	

時	目標	学習活動	以外 の学習活動例や指導上の留意事項
(2) 3＋9 の けいさん　②p.65～66　2 時間			
5	・1 位数どうしの繰り上がりのある加法計算で，被加数を分解して計算する方法（被加数分解）があることを知り，計算の仕方についての理解を深める。 ②p.65～66	①場面から加法であると判断して，立式する。 ②3＋9 の計算の仕方を考える。 ③被加数を分解しても，10 のまとまりをつくれることをまとめる。	
6		①自分が計算しやすい方法で考えてよいことを確認する。 ②計算練習に取り組む。 ③文章題を解決する。	
(3) かあど れんしゅう　②p.67～68　3 時間(2 時間)			
7 ～ 8	・加法の計算能力を伸ばす。 ②p.67～68	①計算カードを用いたいろいろな活動を通して，繰り上がりのある 1 位数どうしの加法計算の練習をする。 ＊デジタルコンテンツ設定有 ②答えが 12 になるカードを集めたり，同じ答えのカードを並べたりして，数の並び方の規則性を見いだし，数の関数的な見方にふれる。	授業では.左記①を 1 時間扱い，②を 1 時間扱いとする。
まとめ　②p.69　1 時間			
9	・学習内容の定着を確認するとともに，単元で学習したことのよさを感じ価値づける。 ②p.69	①「たしかめよう」に取り組む。	

単元名	おぼえているかな？			教科書のページ	②p.71
配当時数	―	活動時期	10 月中旬	学習指導要領の内容	―

時	目標	学習活動	以外 の学習活動例や指導上の留意事項
―	・既習内容の理解を確認する。 ②p.71	①「おぼえているかな？」に取り組む。 ②友達が示した 1 位数が書いてあるカードを見て，10 に対する補数を答える活動に取り組む。	問題の解決，答え合わせを以外で行う。 児童がわからない問題があれば，個別に支援する。

単元名	12. かたちあそび			教科書のページ	②p.72～75
配当時数	4 時間	活動時期	10 月下旬	学習指導要領の内容	B(1)ア(ア)(イ)，イ(ア)

単元の目標		身の回りにあるものの形について，基本的な立体図形の特徴や機能をとらえ，立体図形についての理解の基礎となる感覚を豊かにしながら，立体図形の形に着目して特徴や機能をとらえたり，構成や分解を考えたりする力を養うとともに，それらを日常生活に活用しようとする態度を養う。
単元の観点別評価規準	知識・技能	身の回りにあるものの形について，その概形や特徴，機能をとらえたり，構成や分解をしたりするとともに，図形についての豊かな感覚をもっている。
	思考・判断・表現	身の回りにあるものの形に着目し，図形の特徴や機能をとらえたり，構成や分解をしたりして，表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	身の回りにあるものの形について，観察や構成，分解したり，形の特徴や機能をとらえたりした過程や結果を振り返り，そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

時	目標	学習活動	以外 の学習活動例や指導上の留意事項
(1) かたちを つくろう ②p.72～73 2 時間			※実態によっては，次年度以降を見通した教育課程編成として，本単元の学習内容を，第 2 学年第 17 単元「はこの形」と統合して扱うことも考えられる。 その場合は，例えば， ・左記 (1) を 1 時間扱い ・左記 (2)，(3) をそれぞれ 1 時間扱い とし，計 3 時間扱いにするなどのことも考えられる。
1 ・ 2	・立体図形に親しむ。 ・箱などの身の回りの具体物の概形や特徴，機能をとらえる。 ②p.72～73	①作りたい乗り物や建物などを決め，それらの概形や特徴をとらえる。 ②空き箱や空き缶を積んだり重ねたりして作る。 ③いろいろな形のものを積んだり転がしたりして，立体図形の機能や特徴を調べる。	
(2) かたちの とくちょうを まとめよう ②p.74 1 時間			
3	・箱などの身の回りの具体物から形を捨象し，立体図形の特徴をまとめる。 ②p.74	①前時の活動を通して分かった形の特徴や機能を基に，立体図形を分類したり，形あてをしたりする。	
(3) かたちを うつして えを かこう ②p.75 1 時間			
4	・立体図形を構成する面の形に着目して，平面図形を見いだし，説明することができる。 ②p.75	①教科書の写真を見て，どの箱の，どの面を写し取ったものかを話し合う。 ②立体図形の面の形を見て，身の回りのものの形と同じものを見いだし，その形を生かした絵をかき，発表し合う。	

単元名	13. ひきざん			教科書のページ	②p.76～85
配当時数	10 時間 授業 9 時間 以外 1時間	活動時期	11 月上旬～下旬	学習指導要領の内容	A(1)ア(エ) (2)ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア)

単元の目標		11～18 から 1 位数をひく繰り下がりのある減法計算の仕方を理解し，計算の仕方を操作や図を用いて考える力を養うとともに，計算の仕方を操作や図を用いて考えた過程を振り返り，そのよさを感じ，今後の学習や日常生活に活用しようとする態度を養う。
単元の観点別評価規準	知識・技能	11～18 から 1 位数をひく繰り下がりのある減法計算が，「10 といくつ」という数の見方を基にしてできることを理解し，その計算が確実にできる。
	思考・判断・表現	数の構成に着目し，11～18 から 1 位数をひく繰り下がりのある減法計算の仕方を，操作や図を用いて考え，表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	11～18 から 1 位数をひく繰り下がりのある減法計算の仕方について，「10 といくつ」という数の見方や操作，図などを用いて考えた過程や結果を振り返り，そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

時	目標	学習活動	以外 の学習活動例や指導上の留意事項
(1) 13－9 の けいさん ②p.76～80 4 時間			
1	〔プロローグ〕	①p.76 を見て，「のこりはなんこ」を求める場面であることから，減法であることを考え，立式する。既習の減法計算を振り返る。(所要時間は 10 分程度)	
	・11～18 から 1 位数をひく繰り下がりのある減法計算で，被減数を分解して計算する方法(減加法)を理解する。 ②p.76～78	①p.77 を見て，13－9 は未習の計算であることを確認する。 ②13－9 の計算の仕方を考える。	
2		①操作や図を用いて，13－9 の計算の仕方を説明する。 ②減加法による計算方法をまとめる。 ③減加法の方法で 12－9 の計算をする。	
3	・前時までの学習を踏まえ，11～18 から 1 位数をひく繰り下がりのある減法計算で，被減数を分解して計算する方法(減加法)の理解を確実にする。 ②p.79～80	①減数が 8 や 7 の場合の計算の仕方を考える。 ②10 のまとまりから 1 位数をひくとよいことについてまとめる。	
4		①減数が 9～5 の場合の計算練習に取り組む。 ②文章題を解決する。	

時	目標	学習活動	以外 の学習活動例や指導上の留意事項
(2) 12－3 の けいさん　②p.81～82　2 時間			
5	・11～18 から 1 位数をひく繰り下がりのある減法計算で，減数を分解して計算する方法（減々法）があることを知り，計算の仕方についての理解を深める。 ②p.81～82	①場面を読み取り，立式をする。 ②12－3 の計算の仕方を考える。 ③減数を分解して計算してもよいことを確認し，減々法による計算方法についてまとめる。	
6		①自分が計算しやすい方法で考えてよいことを確認する。 ②計算練習に取り組む。 ③文章題を解決する。	
(3) かあど れんしゅう　②p.83～84　3 時間(2 時間)			
7 ～ 8	・減法の計算能力を伸ばす。 ②p.83～84	①計算カードを用いたいろいろな活動を通して，11～18 から 1 位数をひく繰り下がりのある減法計算の練習をする。 ＊デジタルコンテンツ設定有 ②答えが 8 になるカードを集めたり，同じ答えのカードを並べたりして，数の並び方の規則性を見いだし，数の関数的な見方にふれる。	授業では.左記①を 1 時間扱い，②を 1 時間扱いとする。
まとめ　②p.85　1 時間			
9	・学習内容の定着を確認するとともに，単元で学習したことのよさを感じ価値づける。 ②p.85	①「たしかめよう」に取り組む。	

単元名	どんな けいさんに なるのかな？			教科書のページ	②p.86～87
配当時数	2 時間 授業 1 時間 以外 1 時間	活動時期	12 月上旬	学習指導要領の内容	A(2)ア(ア)(イ)(ウ)，イ(ア)

時	目標	学習活動	以外 の学習活動例や指導上の留意事項
1	・加法や減法を適用して問題を解決することを通して，演算を決定する能力を伸ばす。 ②p.86～87	①問題文を読み，それぞれどんな式を立てればよいかを考えて解決する。	授業を 1 時間扱いとする。 左記第 1 時①については，以外での扱いとする。
		①絵を見て作問し，解決する。	

単元名	けいさんぴらみっど			教科書のページ	②p.88～89
配当時数	2 時間 授業 0 時間 以外 2 時間	活動時期	12 月上旬	学習指導要領の内容	A(1)ア(エ) (2)ア(ア)(イ)(ウ)(エ), イ(ア)

時	目標	学習活動	以外 の学習活動例や指導上の留意事項
1	・既習事項を総合的に適用して問題を解決することを通して，既習内容の理解を確認する。 ②p.88～89	①ピラミッドの計算に取り組み，既習の加減計算の練習をする。	問題の解決，答え合わせを以外で行う。 児童がわからない問題があれば，個別に支援する。
2		①p.89 下の問題に取り組み，数は 2 つの数の和や差としてとらえられることを確認する。	

単元名	おぼえているかな？			教科書のページ	②p.90
配当時数	―	活動時期	12 月上旬	学習指導要領の内容	―

時	目標	学習活動	以外 の学習活動例や指導上の留意事項
―	・既習内容の理解を確認する。 ②p.90	①「おぼえているかな？」に取り組む。	問題の解決，答え合わせを以外で行う。 児童がわからない問題があれば，個別に支援する。

単元名	14. おおきい かず			教科書のページ	②p.91～105
配当時数	14 時間 授業 13 時間 以外 1時間	活動時期	1 月上旬～下旬	学習指導要領の内容	A(1)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)(カ)(キ)(ク), イ(ア) (2)ア(エ), イ(ア)

単元の目標		2 位数や簡単な 3 位数について，個数の数え方や数の読み方，書き方，数の構成などを理解し，10 を単位として数をとらえる力及び数の構成に着目して数の計算の仕方を考える力を養うとともに，数で表すことのよさを感じ，日常生活に活用しようとする態度を養う。
単元の観点別評価規準	知識・技能	2 位数や簡単な 3 位数について，個数の数え方や数の読み方，書き方，数の構成や大小などを理解し，120 程度までの数を数え数字を読んだり書いたり，2 位数の数の構成を加法や減法の式に表すことができる。
	思考・判断・表現	既習の数の表し方の仕組みを基に，120 程度までの数の数え方や読み方，書き方を考え，言葉やブロックなどを用いて表現したり，数の構成や既習の計算を活用して，簡単な場合の 2 位数の加減計算の仕方を考え，言葉やブロックなどで表現したりしている。
	主体的に学習に取り組む態度	数の構成を活用して数の数え方や加減計算の仕方を考えた過程や結果を振り返り，そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

時	目標	学習活動	以外 の学習活動例や指導上の留意事項
(1) おおきい かずを かぞえよう ②p.91～96 5 時間			
1	・2 位数の数え方，唱え方や，位取りの原理と記数法を理解する。 ②p.91～92	①p.91 の写真を見て，種の数の数え方を考える。 ②数えた数の表し方について話し合う。	
2		①p.92 を見て，10 のまとまりとばらに分けて表せばよいことをまとめ，位取り記数法を知る。	
3	・2 位数の数え方の理解を確実にする。 ②p.93～95	①p.93 の卵やペン，シールの数を数える。	
4		①p.94～95 のペットボトルのふたなどの数を，印をつけるなどの工夫をして数える。	
5	・2 位数の構成を理解する。 ②p.96	①ブロックや位取り板で数を表す。	
(2) 99 より おおきい かず ②p.97～98 1 時間			
6	・100 の唱え方，読み方，書き方を理解する。 ②p.97～98	①p.97 の落ち葉の数を数え，99 の次は 100 と書き表すことを知る。	
(3) かずの ならびかた ②p.99～100 2 時間			
7	・数表から数の並び方の規則性をとらえ，数の規則性や構成を説明することができる。 ②p.99	①0～100 の数表を見て，気づいたことを発表する。 ②数表の数の並び方の規則性についてまとめる。 ③数表の数の並び方を用いて，数をあてる活動に取り組む。	

時	目標	学習活動	以外 の学習活動例や指導上の留意事項
8	・100 までの数の系列や大小を理解する。 ②p.100	①数直線を見て，100 までの数と対応づける。 ②数直線を用いて数の系列や大小を確かめる。	
(4) 100 より おおきい かず　②p.101　1 時間			
9	・具体物を数えることを通して，120 程度までの数の唱え方や系列を理解する。 ②p.101	①p.101 の落ち葉の写真を見て，100 とあといくつあるかを確かめる。 ②100 と 3 で「ひゃくさん」と読み，「103」と書くことを知る。 ③120 程度までの数の唱え方，並び方を知る。	
(5) かずと しき　②p.102～104　3 時間 ※本小単元の内容は「スパイラルのため重複させる内容」であり，次学年で確実な習得をねらう。			
10	・2 位数の数の構成(何十といくつ）を基にした加減計算の仕方を理解し，その計算ができる。 ②p.102	①数の構成（何十といくつ）に基づいて，30＋4，34-4 などの式に表す。 ②何十と 1 位数の加法とその逆の減法の計算の仕方を考える。	
11	・繰り上がりや繰り下がりのない 2 位数と 1 位数との加減計算の仕方を，数の構成に着目して考え，説明することができる。 ②p.103	①2 位数を位ごとに分解してとらえて一の位の数に着目し，25＋3 や 28－3 などの計算の仕方を考える。	
12	・2 位数の数の構成（10 がいくつ）を基にした何十±何十の計算の仕方を理解し，その計算ができる。 ②p.104	①数の構成（10 がいくつ）に基づいて，30＋20 や 50－20 などの式に表し，計算の仕方を考える。	
まとめ　②p.105　2 時間(1 時間)			
13 ・ ~~14~~	・単元の学習を日常生活に活用して，問題を解決する。 ②p.105	〔いかしてみよう〕 ①グループで「かずさがしビンゴ」に取り組む。 ・学校内にあるものの中から，100 個程度までのものを探し，その数を数える。 ・十の位の数字に着目しながら，かずさがしビンゴに取り組む。	授業では.「かずさがし」の活動に重点を置き，1 時間扱いとする。

単元名	15. どちらが ひろい			教科書のページ	②p.106～107
配当時数	1 時間	活動時期	1 月下旬	学習指導要領の内容	C(1)ア(ア)(イ)，イ(ア)

単元の目標		面積の比較などの活動を通して，面積とその測定についての基礎的な意味を理解し，身の回りにあるものの面積について任意単位などにより比較する力を養うとともに，面積についての感覚を豊かにし，日常生活に活用しようとする態度を養う。
単元の観点別評価規準	知識・技能	面積についての基礎的な意味や比較の方法，任意単位による測定の方法を理解し，面積についての基礎的な感覚を身につけ，直接比較や任意単位による測定などによって，身の回りにあるものの面積を比べることができる。
	思考・判断・表現	身の回りにあるものの面積に着目して，直接比較や任意単位による面積の比べ方を考えたり，任意単位により面積を数値で表したりしている。
	主体的に学習に取り組む態度	身の回りにあるものの面積に関心をもち，比較の方法を工夫した過程や結果を振り返り，そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

時	目標	学習活動	以外 の学習活動例や指導上の留意事項
(1) どちらが ひろい ②p.106～107 1 時間			
1	・身の回りにあるものの面積に関心をもち，直接比較やますの数で比べることができる。 ②p.106～107	①レジャーシートなど，身の回りのものの面積を比べる。 ②面積の直接比較の方法を知り，実際に比較してみる。 ③敷き詰められたタイルの面積を，タイルの数で比べる。 ④長さやかさの学習を振り返り，任意単位で比較するよさを確認する。 ⑤陣取り遊びをして，面積をますの数で比べる。	

単元名	16. なんじなんぷん			教科書のページ	②p.108～110
配当時数	2 時間	活動時期	2 月上旬	学習指導要領の内容	C(2)ア(ア)，イ(ア)

単元の目標		何時何分の時刻の読み方を理解し，時計の短針と長針の関係を基に時刻の読み方や表し方を考える力を養うとともに，それらを日常生活に活用しようとする態度を養う。
単元の観点別評価規準	知識・技能	何時何分の時刻の読み方を理解し，何時何分の時刻を読んだり，時計で表したりすることができる。
	思考・判断・表現	短針と長針の関係をとらえて，それぞれの針の位置を基に時刻の読み方を考えたり，時計盤の目盛りに着目して長針の読み方を工夫して考えたりして，表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	時刻に関心をもち，そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

時	目標	学習活動	以外 の学習活動例や指導上の留意事項
(1) なんじなんぷん　②p.108～110　2 時間			
1	・時計を見て，時刻を読み取ることができる。 ②p.108～110	①絵を見て，1 日の生活と関連づけながら時刻を読む（はじめは，10 分刻みや 5 分刻みを中心に扱うようにする）。 ＊デジタルコンテンツ設定有	
2		①模型時計を使って，表された時刻を読んだり，指示された時刻を表したりする。 ②長針を 5 とびで数えて時刻を読んだり，「30 分」や「45 分」などを基点として時刻をとらえたりする。	

単元名	ビルを　つくろう			教科書のページ	②p.111
配当時数	1 時間 授業 0 時間 以外 1 時間	活動時期	2 月上旬	学習指導要領の内容	A(1)ア(エ)(ク)，イ(ア) (2)ア(イ)

時	目標	学習活動	以外 の学習活動例や指導上の留意事項
1	・数の乗法・除法的構成を理解する。 ②p.111	①12 枚の色板でどんな長方形のビルができるか考える。 ②できたビルについて話し合う。 ③色板の枚数を変えて，ビルをつくる活動に取り組む。	左記①，③の活動に取り組み，できたビルの種類をノートに書く。

単元名	17. たしざんと ひきざん			教科書のページ	②p.112～119
配当時数	5 時間	活動時期	2 月中旬	学習指導要領の内容	A(2)ア(ア)(イ), イ(ア)

単元の目標		順序数や異種の数量を含む加減の場面，求大や求小の場面についても加減計算が適用できることを理解し，数量の関係を図に表し計算の意味を考える力を養うとともに，加減の意味を図に表して考えた過程を振り返り，そのよさを感じ，今後の学習に活用しようとする態度を養う。
単元の観点別評価規準	知識・技能	順序数や異種の数量を含む加減の場面，求大や求小の場面も加減の式に表せることを理解し，問題を解決することができる。
	思考・判断・表現	数量の関係に着目し，順序数や異種の数量を含む加減の場面，求大や求小の場面を図や式に表して考え，表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	順序数や異種の数量を含む加減の場面，求大や求小の場面を図に表して問題を解決した過程や結果を振り返り，そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

時	目標	学習活動	以外 の学習活動例や指導上の留意事項
(1) たしざんと ひきざん ②p.112～115 2 時間			
1	・順序数を集合数に置き換えると，加減法が適用できることを理解する。 ②p.112～113	①1の問題文を読み，場面について考える。 ②図を基に問題の構造をとらえ，順序数を含む場合も加法が適用できることを考える。 ③2の問題文を読み，図を基に問題の構造をとらえ，立式して答えを求める。	
2	・異種の数量を同種の数量に置き換えると，加減法が適用できることを理解する。 ②p.114～115	①3の問題文を読み，場面について考える。 ②図を基に問題の構造をとらえ，異種の数量の場合も加法が適用できることを考える。 ③4の問題文を読み，図を基に問題の構造をとらえ，立式して答えを求める。	
(2) おおい すくない ②p.116～117 2 時間			
3	・求大の場合について，加法が適用できることを理解する。 ②p.116	①問題文を読み，場面について考え，図に表す。 ②図を基に求大の構造をとらえ，立式について考える。 ③適用問題に取り組み，解決する。	
4	・求小の場合について，減法が適用できることを理解する。 ②p.117	①問題文を読み，場面について考え，図に表す。 ②図を基に求小の構造をとらえ，立式について考える。 ③適用問題に取り組み，解決する。	

時	目標	学習活動	以外 の学習活動例や指導上の留意事項
(3) ずに かいて かんがえよう ②p.118～119 1時間			
5	・場面を図に表して問題の構造をとらえ，式や言葉を用いて説明することができる。 ②p.118～119	①問題文を読み，p.118の図の続きをかく。 ②図を基に問題の構造をとらえ，問題文の数値に1をたした数が答えになることを考える。 ③図を用いて1の意味について確かめたり，式から他者の考えを読み取って伝え合ったりする。	

単元名	18. かたちづくり			教科書のページ	②p.120～124
配当時数	5 時間	活動時期	3 月上旬	学習指導要領の内容	B(1)ア(ア)(イ)，イ(ア)

単元の目標		身の回りにあるものの形について，基本的な平面図形の特徴をとらえ，平面図形についての理解の基礎となる感覚を豊かにしながら，平面図形の形に着目して特徴をとらえたり，構成や分解を考えたりする力を養うとともに，それらを日常生活に活用しようとする態度を養う。
単元の観点別評価規準	知識・技能	身の回りにあるものの形について，その概形や特徴をとらえ，直線で構成されたものも面で表されたものと同じように見られることを理解し，色板や棒を並べていろいろなものの形を構成したり分解したりすることができる。
	思考・判断・表現	身の回りにあるものの形に着目し，図形の特徴をとらえたり，いろいろな形を構成，分解したりして，表現している。
	主体的に学習に取り組む態度	身の回りにあるものの形について，形の特徴をとらえたり，構成，分解したりした過程や結果を振り返り，そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

時	目標	学習活動	以外 の学習活動例や指導上の留意事項
(1) かたちづくり　②p.120～124　5 時間			
1	・身の回りにあるものの形の特徴をとらえ，色板を並べていろいろな図形を作る活動を通して，図形の構成を説明することができる。 ②p.120～121	①p.120 の絵を見て，形の構成に関心をもつ。 ②直角二等辺三角形の色板を使って，いろいろな形を構成する。 ＊デジタルコンテンツ設定有 ③色板が 2 枚で三角や四角ができることなど，図形の構成，分解を確認する。	
2		①4 枚の色板で基本図形を構成する。 ②1 枚だけ色板を動かして形を変えていく活動に取り組む。 ③色板をずらす，回すなどすることで，いろいろな図形を構成，分解できることを確認する。	
3	・決められた枚数の色板を並べて，いろいろな図形を作る活動を通して，図形の特徴についての理解を深める。 ②p.122	①決められた枚数の色板で，いろいろな形を作る。	
4	・数え棒を並べたり格子点を直線で結んだりして，いろいろな図形を作る活動を通して，形を線でとらえることができる。 ②p.123～124	①前時までに色板で作った形を基に，数え棒を並べて，いろいろな形を作る。	
5		①格子点を直線で結んで，いろいろな形をかく。	

単元名	1 ねんの　ふくしゅう			教科書のページ	②p.125～128
配当時数	3 時間 授業 0 時間 以外 3 時間	活動時期	3 月上旬	学習指導要領の内容	A～D

時	目標	学習活動	以外 の学習活動例や指導上の留意事項
1 ～ 3	・既習内容の理解を確認する。 ②p.125～128	①問題を解決する。	問題の解決，答え合わせを以外で行う。 児童がわからない問題があれば，個別に支援する。